



# 駒林小 学校便り

平成29年度

1月号

1月9日発行

## 一年の計は元旦にあり

校長 柴田 篤志

### PDCAと学校評価

1月4日、昨年10月に全校遠足で行った「県立四季の森公園」の池には、一面氷が張っていました。思わず「寒い」という声を出してしまいましたが、駅まで歩く道沿いに水仙の花を見つけました。また、すっかり葉を落とした木々には、枝の先にしっかりとした芽が形作られていました。自然界では、厳しい寒さの中でも、春の準備が始まっていることを実感しました。

「一年の計は元旦にあり、1年間の目標を立てましょう」と冬休み前の朝会で話をしました。日本の学校では、入学式や始業式が4月にあり、そこからスタートという感がありますが、年を重ねると、1年の区切りというものがだんだんと薄れていくような気がします。なので、自分自身の気持ちを引き締め、更に成長することを目指して、元旦には、1年間の短期目標を設定するようにしています。子どもたちには、春の進学・進級に向けての準備も含めて、2018年を新たな気持ちをもってスタートさせてほしいと思います。

駒林小学校では、学校評価を運動会やフェスティバル駒林など大きな行事の後と年度末の振り返りの時期に実施しています。今月の学校便りには、フェスティバル駒林と学校をひらく週間について、保護者の皆様からいただいたアンケート集計結果を載せてあります。その結果をもとに、本校の教育活動がより良いものになるよう今後も努めてまいります。尚、12月に、児童・保護者を対象に行った学校評価結果につきましては、次の学校便りでお知らせする予定です。

本校では、毎年行っている地域行事があります。1月には、20日（土）に駒林小学校文化スポーツクラブ主催の「みんな DE フレンドパーク」が校庭と体育館で行われます。餅つきやお正月遊び、ビーズや陶芸の絵付け体験などができます。（一部有料）27日（土）には、日吉本町西町会主催の「豆まき」が体育館で行われます。参加する子どもの数が年々増えているので、伝統文化に触れながら楽しいひと時にしたいと思います。

### 「笑顔いっぱい 未来にはばたく 駒林の子」

今年も、駒林小学校の子どもたちが、健康な体と豊かな心を持ち、自分で考え、明るく楽しい学校生活を送れるよう職員一同力を合わせて取り組んでいく所存です。

保護者、地域の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。